

法人全体(併設校含む)

資金収支計算書

収入の部 (単位:円)			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,069,065,000	2,039,490,981	29,574,019
手数料収入	25,840,000	24,477,600	1,362,400
寄付金収入	0	20,000	△ 20,000
補助金収入	68,400,000	78,805,809	△ 10,405,809
国庫補助金収入	(60,000,000)	(64,259,000)	(△ 4,259,000)
地方公共団体補助金収入	(8,400,000)	(14,546,809)	(△ 6,146,809)
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	342,526,540	355,488,749	△ 12,962,209
受取利息・配当金収入	3,165,000	2,371,353	793,647
雑収入	61,612,509	67,619,726	△ 6,007,217
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,331,158,000	1,169,346,480	161,811,520
その他の収入	65,337,855	68,549,003	△ 3,211,148
資金収入調整勘定	△ 1,350,813,000	△ 1,363,585,879	12,772,879
前年度繰越支払資金	3,685,268,067	3,951,704,470	△ 266,436,403 <b>A</b>
収入の部合計	6,301,559,971	6,394,288,292	△ 92,728,321
支出の部 (単位:円)			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,334,179,469	1,357,858,955	△ 23,679,486
教育研究経費支出	450,854,065	408,146,924	42,707,141
管理経費支出	697,531,247	643,239,480	54,291,767
借入金等利息支出	3,300,000	3,263,532	36,468
借入金等返済支出	200,000,000	200,000,000	0
施設関係支出	19,500,000	10,465,200	9,034,800
設備関係支出	40,280,000	30,771,822	9,508,178
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	216,194,100	238,657,979	△ 22,463,879
[予備費]	18,680,240	0	18,680,240
資金支出調整勘定	△ 167,000,000	△ 171,296,928	4,296,928
翌年度繰越支払資金	3,488,040,850	3,673,181,328	△ 185,140,478 <b>B</b>
支出の部合計	6,301,559,971	6,394,288,292	△ 92,728,321



<学校法人会計の特徴(資金収支計算書)>

資金収支計算書とは、その年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容、並びにその年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするため、資金収支計算を行うものです。現金預金(支払資金といいます)の調達経路やその使い道を明らかにすることで、前年度から繰り越した支払資金が、その年度の教育研究活動によっていくら増減したかを示しています。そのため、その年度の授業料はもちろん、借入金や翌年度の授業料などの前受金を収入とする一方で、人件費や諸経費のほか、借入金の返済や施設・設備関係の支出もその年度の支出として計算します。

<当学園の財務状況>

支払資金は前年度からの繰越支払資金39億5170万円(A)に対し、決算では36億7318万円(B)と2億7852万円減少しております。支出の部では、教育研究経費、管理経費がそれぞれ予算に対して4270万円、5429万円支出が抑えられましたが、全体としては支出が収入を上回り、支払資金は減少という結果になりました。

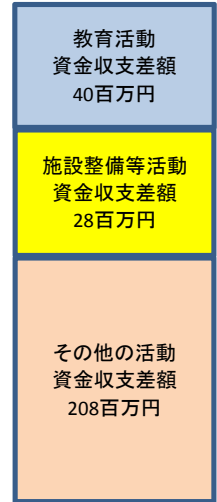
なお、金融機関からの借入金の残高は年度末時点で残り2億円となっており、令和元年度末には完済できる見込みです。

法人全体(併設校含む)

活動区分別資金収支計算書

(単位:円)

科目		金額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,039,490,981
		手数料収入	24,477,600
		一般寄付金収入	20,000
		経常費等補助金収入	73,842,809
		付随事業収入収入	355,488,749
		雑収入	67,586,626
		教育活動資金収入計	2,560,906,765
	支出	人件費支出	1,357,858,955
		教育研究経費支出	408,146,924
		管理経費支出	643,239,480
	教育活動資金支出計	2,409,245,359	
	差引	151,661,406	
	調整勘定等	△ 192,369,396	
	教育活動資金収支差額	△ 40,707,990 <b>A</b>	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備補助金収入	4,963,000
		施設設備売却収入	0
		施設整備等活動資金収入計	4,963,000
	支出	施設関係支出	10,465,200
		設備関係支出	30,771,822
		施設整備等活動資金支出計	41,237,022
		差引	△ 36,274,022
		調整勘定等	7,286,220
		施設整備等活動資金収支差額	△ 28,987,802 <b>B</b>
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 69,695,792
その他の活動による資金収支	科目		金額
		その他の活動資金収入計	3,506,502
		その他の活動資金支出計	206,089,768
		差引	△ 202,583,266
		調整勘定等	△ 6,244,084
		その他の活動資金収支差額	△ 208,827,350 <b>C</b>
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 278,523,142 <b>D</b>	
	前年度繰越支払資金	3,951,704,470	
	翌年度繰越支払資金	3,673,181,328	



収入超過

支出超過

<学校法人会計の特徴(活動区分別資金収支計算書)>

活動区分別資金収支計算書は、資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分に分け、活動区分ごとに資金の増減を把握しようとするものです。

施設・設備の取得・売却に伴う資金収支は「施設整備等活動」に、財務活動や過年度修正に伴う資金収支は「その他の活動」に区分し、それ以外の活動は「教育活動」として区分しており、どの活動区分により資金が増減したのかが表示されます。

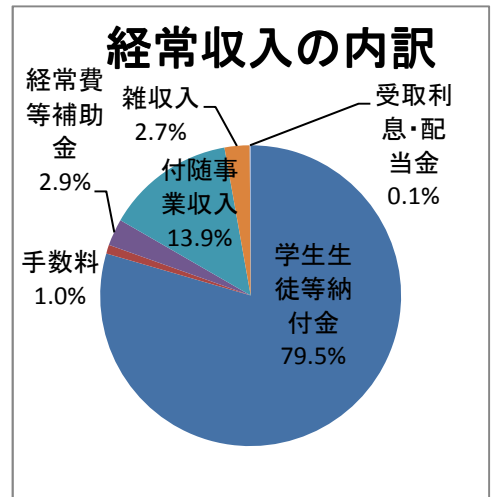
<当学園の財務状況>

平成30年度は、「教育活動による資金収支」が4070万円(A)のマイナス、「施設整備等活動による資金収支」が2898万円(B)のマイナス、借入金の返済をはじめとした「その他の活動による資金収支」がマイナス2億0882万円(C)となり、結果として2億7852万円の支払資金減(D)となりました。なお、資金収支計算においては固定資産に対する減価償却額は含まれず、実際の支払資金の増減を把握するという意味で事業活動収支計算とは異なります。

法人全体(併設校含む)

事業活動収支計算書

		事業活動収入の部 (単位:円)			
		科目	予算	決算	差異
教育活動収入	事業活動収入	学生生徒等納付金	2,069,065,000	2,039,490,981	29,574,019
		手数料	25,840,000	24,477,600	1,362,400
		寄付金	0	20,000	△ 20,000
		経常費等補助金	63,400,000	73,842,809	△ 10,442,809
		国庫補助金	(60,000,000)	(64,259,000)	(△ 4,259,000)
		地方公共団体補助金	(3,400,000)	(9,583,809)	(△ 6,183,809)
		付随事業収入	342,526,540	355,488,749	△ 12,962,209
		雑収入	61,732,509	69,271,185	△ 7,538,676
		教育活動収入計	2,562,564,049	2,562,591,324	△ 27,275
		教育活動支出	事業活動支出	人件費	1,351,779,469
教育研究経費	693,652,003			653,307,598	40,344,405
管理経費	757,556,493			709,614,059	47,942,434
徴収不能額等	0			6,360,446	△ 6,360,446
教育活動支出計	2,802,987,965			2,731,976,706	71,011,259
教育活動収支差額		△ 240,423,916	△ 169,385,382	△ 71,038,534	
教育活動外収入	収入	受取利息・配当金	3,165,000	2,371,353	793,647
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	3,165,000	2,371,353	793,647
	支出	借入金等利息	3,300,000	3,263,532	36,468
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	3,300,000	3,263,532	36,468		
教育活動外収支差額		△ 135,000	△ 892,179	757,179	
経常収支差額		△ 240,558,916	△ 170,277,561	△ 70,281,355	
特別収入	収入	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	5,000,000	6,723,549	△ 1,723,549
		特別収入計	5,000,000	6,723,549	△ 1,723,549
	支出	資産処分差額	0	525,287	△ 525,287
		その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	525,287	△ 525,287		
特別収支差額		5,000,000	6,198,262	△ 1,198,262	
[予備費]		18,680,240	0	18,680,240	
基本金組入前当年度収支差額		△ 254,239,156	△ 164,079,299	△ 90,159,857	
基本金組入額合計		△ 260,000,000	△ 109,218,057	△ 150,781,943	
当年度収支差額		△ 514,239,156	△ 273,297,356	△ 240,941,800	
前年度繰越収支差額		△ 6,908,140,671	△ 6,205,532,156	△ 702,608,515	
基本金取崩額		0	49,735	△ 49,735	
翌年度繰越収支差額		△ 7,422,379,827	△ 6,478,779,777	△ 943,600,050	
(参考)	事業活動収入計	2,570,729,049	2,571,686,226	△ 957,177	
	事業活動支出計	2,824,968,205	2,735,765,525	89,202,680	



「経常収入」＝「教育活動収入」＋「教育活動外収入」  
 ※2,562,591,324＋2,371,353＝2,564,962,677  
 ※円グラフは、小数点第2位四捨五入

<学校法人会計の特徴(事業活動収支計算書)>

事業活動収支計算書とは、その年度の事業活動収入と事業活動支出の内容及び均衡の状態を明らかにするため、収支計算を行うものです。企業の損益計算書と似ていますが、学校法人の活動を教育活動、教育活動以外の経常的な活動、その他の臨時的な活動の3つに区分し、それぞれの活動区分ごとの収支差額を表示しています。

これにより、経常的な活動(教育活動と教育活動以外の経常的な活動)による収支差額である「経常収支差額」と、臨時的な活動による特別収支差額を加味した「基本金組入前当年度収支差額」を把握することができ、単年度の経常的な活動による収支差額を把握することができます。

また、教育研究に必要な施設設備を永続的に保有できるよう、施設設備に支出した金額等を基本金として組み入れ、前年度繰越収支差額に基本金組入後の当年度収支差額を加えたものが、翌年度繰越収支差額として、繰り越されることとなります。

<当学園の財務状況>

平成30年度の事業活動収支(固定資産の減価償却額を含む)は、教育活動による収支差額は1億6938万円のマイナス(A)となりました。また、借入金利息の支払により、教育活動以外の経常的な活動(B)を加味した「経常収支差額」1億7027万円のマイナス(C)となっております。

特別収支においては、施設設備補助金や現物寄付により、特別収支差額は619万円のプラス(D)となり、基本金組入前当年度収支差額は1億6407万円のマイナス(E)となっております。

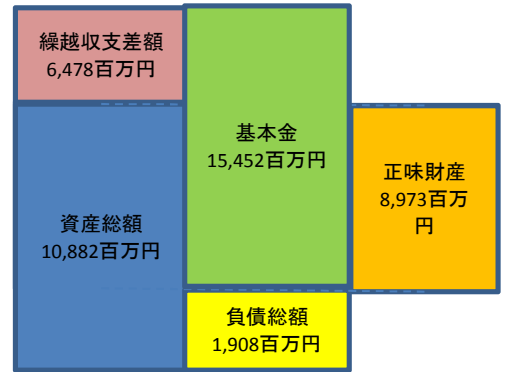
基本金の増減としては、新たに取得した固定資産相当額や借入金で購入した固定資産分の返済を行った金額1億921万円を基本金に組入れ(F)しました。また、固定資産の整理による基本金の取崩の結果、翌年度繰越収支差額は2億7324万円減少し、64億7877万円のマイナス(G)となっております。

法人全体(併設校含む)

貸借対照表

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,125,420,835	7,389,455,146	△ 264,034,311
有形固定資産	(7,034,630,012)	(7,294,531,724)	(△ 259,901,712) A
その他の固定資産	(90,790,823)	(94,923,422)	(△ 4,132,599)
流動資産	3,756,801,237	4,077,365,216	△ 320,563,979
資産の部合計	10,882,222,072	11,466,820,362	△ 584,598,290 B
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	344,843,211	537,109,665	△ 192,266,454 C
流動負債	1,563,589,202	1,791,841,739	△ 228,252,537 D
負債の部合計	1,908,432,413	2,328,951,404	△ 420,518,991 E
基本金	15,452,569,436	15,343,401,114	109,168,322
繰越収支差額	△ 6,478,779,777	△ 6,205,532,156	△ 273,247,621 F
純資産の部合計	8,973,789,659	9,137,868,958	△ 164,079,299
負債及び純資産の部合計	10,882,222,072	11,466,820,362	△ 584,598,290



財産目録

I. 資産総額	10,882,222,072 円
内 基本財産	7,125,420,835 円
運用財産	3,756,801,237 円
II. 負債総額	1,908,432,413 円
III. 正味財産	8,973,789,659 円

(単位:円)

区分	金額
<資産額>	
1. 基本財産	
土地	2,710,188,945
建物	2,966,836,069
建物附属設備	182,907,224
構築物	843,391,260
教育研究用機器備品	104,566,340
図書	205,980,408
その他	111,550,589
2. 運用資産	
現金預金	3,673,181,328
その他	83,619,909
資産総額	10,882,222,072
<負債額>	
1. 固定負債	
長期借入金	0
その他	344,843,211
2. 流動負債	
一年以内返済長期借入金	200,000,000
その他	1,363,589,202
負債総額	1,908,432,413
<正味財産>(資産総額 - 負債総額)	8,973,789,659

<学校法人会計の特徴(貸借対照表)>

貸借対照表とは、学校法人の財政状態を示しており、学校法人の資産・負債や、教育研究活動に必要な基本金の金額、法人設立以後の繰越収支差額の合計額などが表示されています。

<当学園の財務状況>

平成30年度は建物等の減価償却により「有形固定資産」が2億5990万円減少(A)し、資産の部としては5億8459万円の減少(B)となりました。

負債の部は、借入金の返済により2億円減少し、「固定負債」としては1億9226万円の減少(C)。その他「流動負債」が2億2825万円減少(D)したことにより、負債の部は4億2051万円の減少(E)となっております。

繰越収支差額は当年度収支差額が2億7329万円の支出超過となったため、基本金の組入・取崩の結果、繰越収支差額は2億7324万円の減少となり、法人設立からの累計は64億7877万円の支出超過(F)となりました。